

やさいレポート（令和6年7月号）



にんじん



発行日：令和6年7月5日

1. 卸売価格の動向

○212 円/kg（7月2日）

➢ 平年比：145%

○7月の価格見通し

前半：高値水準で推移

後半：平年並みで推移

（農林水産省、東京都中央卸売市場）

2. 小売価格の動向

○531 円/kg（6月全国平均）

➢ 前月比：95%、平年比：153%

➢ 東京：229 円（3本）

➢ 大阪：233 円（3本）

○特売店舗数／調査店舗数

➢ 東京：8/20（前月 3/20）

➢ 大阪：4/10（前月 4/10）

（機構調べ）

3. 家計消費動向

○207g/人（5月全国平均）

➢ 前月比：103%

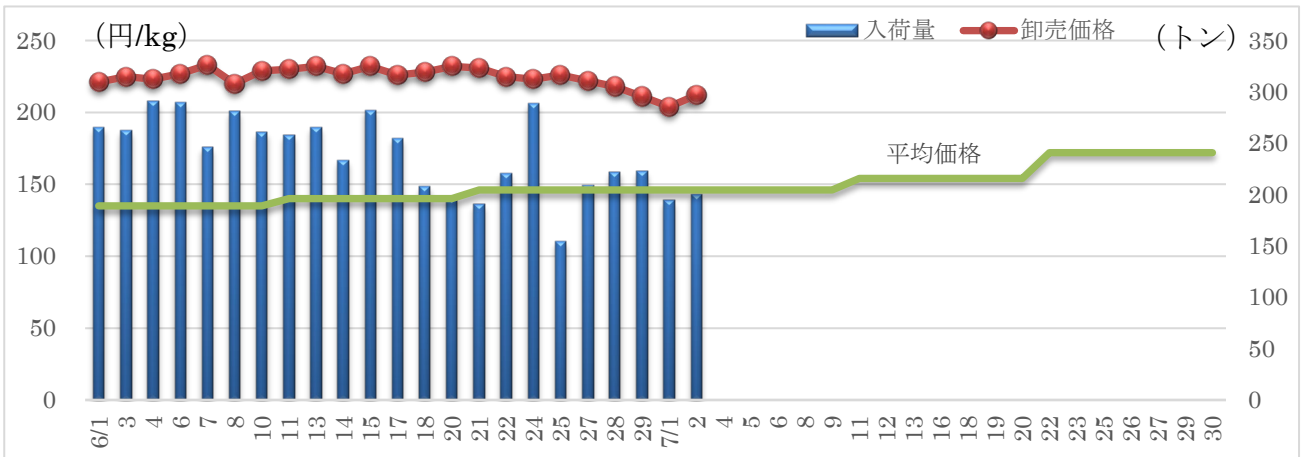
➢ 前年同月比：93%

○2,637g/人（2023 年年間）

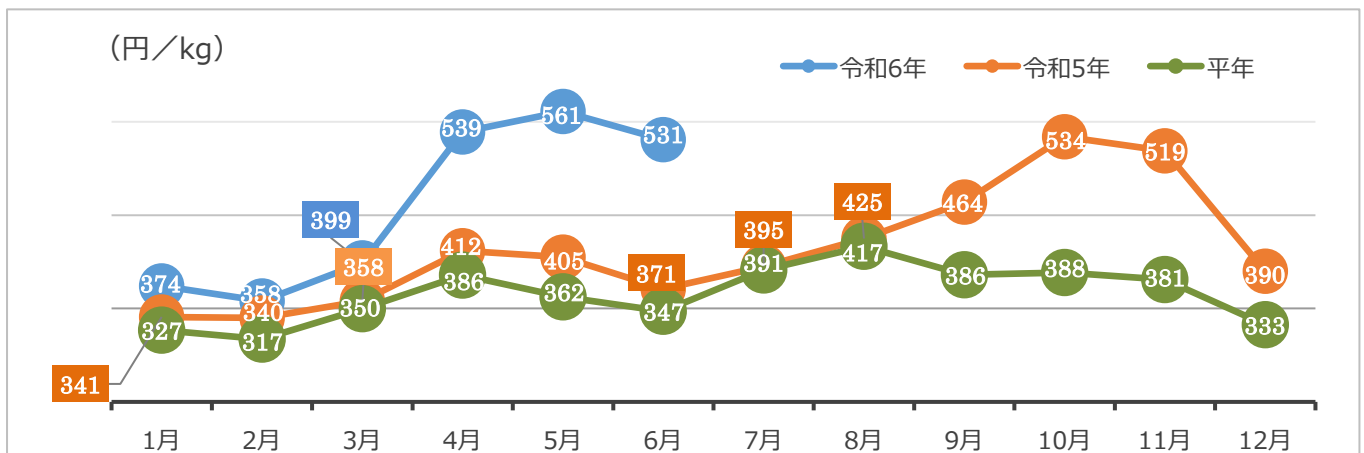
➢ 前年比：98%

（総務省統計局家計調査）

4. にんじんの入荷量と価格の推移（東京都中央卸売市場）



5. にんじんの小売価格の推移



6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
北海道富良野 (6/11)	前年並み	平年並み	平年並み	—
青森県三沢 (6/20)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
徳島県吉野川流域 (4/15)	減少	平年並み	平年並み	平年並み

※特記ない場合は平年比。() 内は調査日。

(機構調べ)



北海道富良野市：圃場の様子

7. 向こう1ヶ月の気象情報 (07/06~08/02)

		週別の天候		
07/06~07/12		北・東日本と西日本日本海側では、前線や低気圧の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。 西日本太平洋側では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。		
07/13~07/19		北日本では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 東・西日本では、前線や湿った空気の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。		
07/20~08/02		北日本では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 東・西日本と沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。		
		平均気温 (1か月)	降水量 (1か月)	日照時間 (1か月)
北日本	日本海側	低10 並20 高70% 高い見込み	少20 並30 多50% 多い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み
	太平洋側		少20 並40 多40% 平年並か多い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み
東日本	日本海側	低10 並20 高70% 高い見込み	少20 並30 多50% 多い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み
	太平洋側		少20 並40 多40% 平年並か多い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み
西日本	日本海側	低10 並20 高70% 高い見込み	少20 並30 多50% 多い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み
	太平洋側		少20 並40 多40% 平年並か多い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み

(気象庁1カ月予報)

8. 輸入動向 (生鮮にんじん)

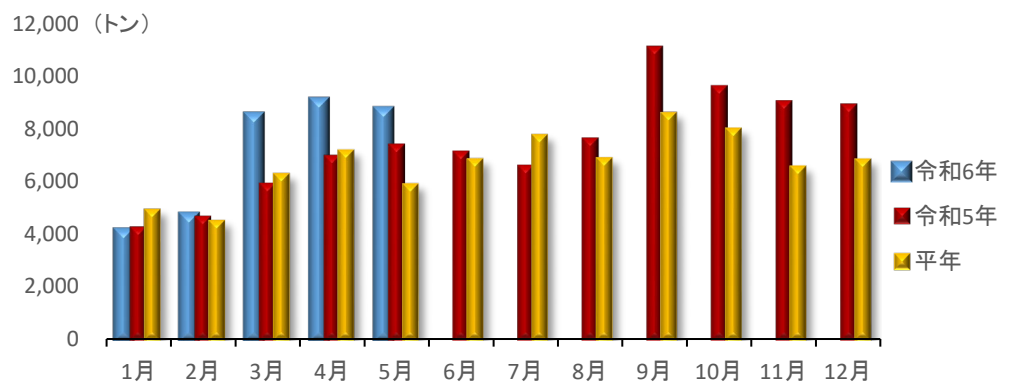
○8,728トン (5月輸入量)

➢ 前年同月比：118%

○輸入先国ベスト3

- 1位 中国 8,408トン
- 2位 台湾 250トン
- 3位 オーストラリア 65トン

(財務省貿易統計)



9. 一口メモ

6月は、千葉県産など関東産が中心となりましたが、降雨や高温の影響から細物多く、入荷が伸び悩み高値となりました。後半から青森県産、北海道産の出荷が始まりましたが、品薄感が強く高値が続きました。

7月は、青森県産、北海道産へ切り替わりますが、本格的な入荷は後半になることから、価格は前半は平年を上回り、後半は平年並みで推移する見込みです。

本データは全てベジ探から入手できます。
詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探：<https://vegetan.alic.go.jp/>
<問い合わせ先>

農畜産業振興機構

野菜振興部 需給業務課

Tel:03-3583-9793